

附属中学校出身生徒への課題（英語）

東京学芸大学附属高等学校 英語科

中学校の授業に最後まで真剣に取り組むことが最優先です、授業の予習、復習、及び課題等は、すべて取り組み、やり遂げましょう。以下の課題に取り組みなさい。

<提出方法>

プリントに記載された、以下の①②③課題に取り組み、プリントをホチキス留めして提出

1. 入試の解き直し
2. 解き直しをしての振り返り
3. 英語学習の記録

1. 入試の解き直し

入試の解き直しをしなさい。下記のリスニングスクリプト・解答を利用して、丸つけまで行うこと。

<附属中学入試英語解答>

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
2	4	1	1	3	3	2	7	6	5	4
12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
4	5	6	7	4	5	1	5	3	3	3
23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33
4	2	2	1	3	4	3	1	1	3	5

※問題番号32・33は順不同

リスニングスクリプト

- (1) A: My brother won a tennis tournament.
B: Wow! That's great. Can you also play tennis well?
A: Me? No, I'm not good at sports. How about you?
- (2) A: I've lost my umbrella.
B: Oh no. Was it the blue one?
A: Yeah. I left it near the entrance.
- (3) A: Are you free after school today?
B: I have basketball practice. You have it too, right?
A: Oh, I forgot it was Monday!
- (4) A: Are you going to the party tonight?
B: I want to, but I have to study for the test.
A: Me too. I think we should stay home and study harder.
- (5) A: What are you doing today?
B: I'm going to the library to return some books.
A: Oh, can I come with you?

2. 解き直しをしての振り返り

解き直しをしてみて、①できたと思ったところはどのような点ですか。②うまくいかなかったところは、どのようなところですか。③うまくいかなかったところをできるようにするために、高校入学までに、どのようなことをしますか、あるいはしましたか。文章で書きなさい。

3. 英語学習の記録

高校で求められる英語では、求められる質はより高く、量はより多く、速度はより早くなります。高校生活の良いスタートが切れるよう、毎日トレーニングをして、英語力を磨いてきてください。毎日英語の学習に取り組み、その記録を別添の表に書いて提出をしてください。

- (1) 毎日、英語の学習に取り組むこと。1日30分以上が望ましい。できない時には、翌日に2日分取り組むこと。
- (2) 学習内容を記録すること。記録の仕方は例を参照すること。
- (3) 1日少なくとも1つは、新しい語(句)や印象に残った表現を記録すること。

○学習活動例

使用教材例は、課題プリントのものを参照すること。

#	トレーニングの種類	方法
1	リスニング	音源を聞いて内容を理解する。頑張れば理解できる難易度になるように、スクリプトや動画の字幕有無を調整しても良い。
2	リピーティング	スクリプトを見ながら、英語で流れる音源を意味のかたまりなどで一時停止して、その後について英語を発音する。
3	オーバーラッピング	スクリプトを見ながら、音源をよく聞き、聞こえた通りに英語を発音していく。
4	シャドーイング	スクリプトを見ないで、音源をよく聞き、聞こえた通りに英語を発音していく。
5	ディクテーション	音源を聞いて、それを書きとる。全て書きとったら、スクリプトを見て答え合わせをする。音源を流しっぱなしにするor適宜止める、音源を聞ける回数を制限することで難易度調整ができる。

～英語が苦手なみなさんへ～

高校の英語の授業は、「中学校の内容がきちんと理解できている」という前提で行われます。4月までの間に、この3年間の内容をきちんと復習をしましょう。誰にでも上手にできないことはあります。上手にできないからといって、何もやらないのでは状況は変わりません。今回の課題を、自分が変わるきっかけにしてください。以下、練習メニュー例です。

教材：英語の教科書(自分が英語に苦手を感じるようになった学年のもの)

教科書の音源を聞くためのもの、筆記用具

手順：①教科書の1課分の文章のディクテーション

②答え合わせ 内容確認(全訳でも良い)

③書き取れなかった単語や表現の復習

※ 労を惜しまず復習する。発音しながら、たくさん書く。

まずは、今日から1日10分でもいいので、毎日英語を勉強しましょう。2月に入る頃には、少しでも英語を勉強しないとそわそわする状態にしてください。

自分がどんな勉強から始めたらわからないという方は、中学校の先生に相談をしてみましょう。みなさんの姿を間近で見てきた先生方ですから、きっとそれぞれにあったトレーニング方法を教えてくださるでしょう。高校生活で良いスタートを切れるよう、万全の準備をしてくることを期待します。